第５回　恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会　（会議録）

会議の名称	第５回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会
開催日時	令和５年１１月２日（木）　午後７時から
開催場所	串原コミュニティセンター　サンホール
議題	課題No.９「校舎の増築、改修に関すること」について ～第４回部会のグループ発表をふまえた配置計画案について～
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森　慶隆 安藤　常雄 三宅　勝彦 鈴木　則彦 安藤　真由美 川上　容子 永田　満依子 後藤　純一 園原　正明 片桐　慎一 後藤　理恵 山田　宗則 非　公　表 大石　佐緒理 佐藤　美保 教育委員会 丸山　頼彦 長谷川　椋 小栗　　研 横田　洋平 市川　寛子 市川　太一
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	０名

事務局　では、皆様こんばんは。11 月に入って、日の暮れるのも早くなって、もうすぐに真っ暗な状態だったかと思いますけれども、今日はお集まりいただきましてありがとうございます。これより５回目の部会を始めさせていただきたいと思います。

初めにお伝えさせていただきます。インターネット配信を、映像ではなく音声で行うということにしております。ここに、前に置いてあります、ここで拾っております。これで、今、インターネット配信という形でやらせていただいております。こういう形で部会のほうも始めていきますので、皆様、ご了承のほうよろしくお願いしたいと思います。

それでは、会の初めに、部会長様から挨拶と一言のほうよろしくお願いいたします。

部会長　改めまして、こんばんは。３連休前ということで、お忙しい中、お集まりをいただきましてありがとうございます。11 月で、秋もいよいよ深まってくるなという感じで。実は私、ここへ来る前そこの温泉へ行っておりましたが、何と温泉、もうクリスマスソングが流れておりました。ちょっと早いなと思っておりましたけど。

この環境部会も今日で５回目を数えることになりました。この環境部会ということで、今一度ちょっと立ち返ってみたいと思うんですけども、今、校舎の増築ですとか改修についての議論をいただいてますが、この部会が議論する中で、責任を持った決定をするものではないということだけ、ちょっと承知をいただきたいなと思います、確認ですが。こうして、とは言いながら、皆さん方から多くの意見を出し合っていただいて、それから、市のほうからもこれまで多くの資料が提供されてきたものと思います。特に今回なんかもそうですが、資料をいち早くお伝えしようということで、速達便で来てましたけども、そんなようなことになってます。

そうした中で学校というのは、多くの時を生徒たちが過ごす場所ですね、これ当たり前です。そうした将来を担う子供たちのよりよい環境を考えていくというものでもあります。こうしたことから、中学校の施設の整備方針を、全体として、専門家といいますか、建築関係の方の意見を踏まえて、意見をすり合わせをして、なおかつ、まとめ上げて提案をしていく形にしていきたいなというふうに思っておりますので、活発な議論をよろしくお願いをいたしたいと思います。今日はどうぞよろしくお願いします。

事務局　ありがとうございました。では、部会の議事進行は、部会長様のほうで行わせていただきたいと思いますので、部会長様のほうでよろしくお願いいたします。

部会長　じゃあ、お手元にレジュメございますように、協議事項に早速入りたいと思いますが、今やっております校舎の増築、改修に関することについてですが、前回の第４回の部会の各グループの発表を踏まえた配置計画案について、市のほうから説明をお願いいたします。

事務局　では、ご説明させていただきたいと思います。既に皆様のお手元に届いていた図面も、もう一度置かせていただきました。あと、航空写真の図面が３枚置いております。それと、それぞれ、皆様のお手元用にということで、左上に資料１と書いてあるものと、カラー写真の両面刷りのものになります。まず資料１と書いてあるものをご覧いただきながら、少しご説明をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

皆様に先にお配りしましたように、前回の部会で、学校のグラウンドの真ん中にも校舎を増築するというような案という形で、今日は皆さんのご自宅にもお配りしましたＥ案というものをご用意してます。そのＥ案と、前回示していたＤ案。Ｄ案は、建物のつくりをさらに再検討したものを今回示して、Ｄ－２案というふうにさせてあります。前回まで部会で提案のあった項目に配慮したつくりという形で、絵のほうも描き上げた、検討したものになっております。
この資料の１というふうに書かせていただいたもの、まずもって少しお話させていただきます。施設をつくるに当たりましては、やはり基準がございました。中学校施設整備指針というものの中に、施設の計画の在り方。そして、屋外のどのような計画をしたらいいのかという計画の在り方が示されてます。特に、第６章屋外というところでは、防災・防犯など安全性の確保に十分配慮しましょうよということ。あと、体育の授業、そういうときのためのグラウンドの使い方、また、陸上競技の実施に必要な規格のトラックであるとか、こういうものをちゃんと確保するようにというのが、学校施設を造る上で１つの基準になってます。やっぱりこれを満たしていかないといけないというものがあります。その中で、表にしてあります。前回まで、いろんな意見を伺った中で、一番左の一番上ですね、雨天のときであったり、例えば体育であったり、いろんな活動するときに日陰も欲しいよねということで、ピロティという提案を出させていただきました。これはやっぱり欲しいよねということです。今回、Ｄ－２案とＥ案という書き方をしておりますが、どちらの案もピロティを造るという構造はできますよというのが結果的に分かります。
もう一つが教室の向きですね。前、ちょっと西向きの絵が描いてありました。だけど、やっぱり南向きのほうがということも考えまして、じゃあ、できるのかといったときに、Ｅ案もＤ－２案も南向きの校舎を造ることがやっぱり可能になってきたもんですから。お示ししましたように、前のＤ案は横向きでしたのを、縦並びの形に変更できる構造も可能であったということで、西日問題もクリアできるのかなと。
あともう一つが、音が漏れるので、廊下に対面の教室でなくて横並びですよというようなお話の中で、どちらもやはり横並びの教室も、Ｅ案でもＤ案でも可能というとこです。
あと、広さの問題も、新しく造るので、これも広い教室もできる。あと、そうですね、緊急時に生徒の引渡し。そういうときに配慮した、車が通る動線、校舎を造るときにもやっぱ配慮したいよねといったときに、これもＥ案でもＤ案でも確保はできる形が取れると。
最後の段にあります、今のグラウンドでトラックコース分を確保できるかどうかというところになると、Ｄの案ですと、お示ししたように確保できましたが、Ｅの案だと、どうしてもやっぱり無理なんですよね。ピロティの下を通ればいいんじゃないかというご提案もあったんですが、やはり安全性ということを考えますと、ここはやっぱり不可能な状態にはなります。
ＤもＥも、今まで話してきた中の条件はクリアできてくるんですけど、あと課

題になるのはグラウンドの使い勝手のところが課題かなという差がはっきりと表われたところなんですけども。その中で、この安全性というところを、施設整備指針にあります、そこをちょっと基にして考えた場合ですけれども、けがとか体調不良、こういうとき保健室、こういうときの緊急搬送ということを考えたときには、D－２の案はもちろんグラウンドがすぐ目の前ですので、近く対応は可能ですけれども、Ｅ案だとＢ＆Ｇのグラウンドを使うというような想定になった場合ですと、やはり遠いということで、緊急搬送という意味では、少し、ちょっと大変なことが想定できると。
もう一つ、体育の授業のときの安全性であったり、緊急ですね、ＡＥＤを使うようなときの場合のことですね。D－２案ですと、グラウンドがすぐにあるということで、多くの職員も駆けつけることが、すぐに対応できると。ただ、Ｅ案のほうですと、やはり距離がある、急階段もあるという中で、どうしても対応が簡単にはいかないなということです。
あと、不審者であったり、近年でいうと動物ということもあります。そういうものの進入をどう発見できるかというところですけれども、D－２案の場合ですと、校舎にいる職員が多くいるというところで、より多くの目線が常にあるというところの中で、発見の可能性は高い。Ｅ案の場合ですと、やっぱりグラウンドが直接見えてこないというところにあって、気づくということが少し懸念かなというものになります。
お手元に配りました写真。ちょっと今回、写真撮ってきました。どんな感じになるのかなというところで、この写真１が、今のグラウンドから学校を見た感じ。その下が、Ｂ＆Ｇの、その下のグラウンドですね、そこから学校側をちょっとのぞいたときですと、やはりちょっと校舎全体がなかなか見にくいという状態でした。あと、裏面の写真３ですと、現在こういうようなグラウンドとの行き来をする階段。写真４は、それを横から撮った状況になります。
今のグラウンドとＢ＆Ｇのグラウンド、やっぱり高低差約 15 メートルほどございました。階段は 90 段近くございまして、移動時間、想定される校舎の玄関辺りからグラウンド中央に行くのに、やはり往復で８分ぐらいかかるという状況でした。
あと、現在使ってる生徒たちにも、先生を通じて聞き取りをさせていただいたというところの中で、ここに書かせていただきました。やっぱり体育授業するということになると、移動が遠いよねという話。あと、やっぱり冬、悪天候時、上り下りが非常に不安もある。あと、やっぱりどこの学校もすぐ隣がグラウンドというとこで、昼休み等にグランドで活動するというところがあるんですけども、これが下のグラウンドになると、気軽にといったところはなかなか難しいので、少し難色があるなという御意見をいただいております。
まずここでは、今のD－２とＥの建物の配置について、いろんな角度から確認をさせていただいたところをまず説明させていただきました。次は、写真の図面のことについてちょっとまた説明させていただきますので、ちょっとそれを見ていただきたいと思います。

事務局　そうしましたら、机のほうに航空写真で、山岡中学校、恵那西中学校、恵那東中学校の駐車場の状況ということで、各学校へ聞き取りをしましたので、その辺をご報告させていただきます。

まず、山岡中学校ですが、学校規模、教員数13名、職員数というのは、事務員さんとか用務員さん、いわゆる先生ではない方が２名、合計15名の方がいらっしゃいます。生徒数は73名で５学級となっております。それに対して、じゃあ駐車場は何台あるかといいますと、52 台。職員室から出た玄関先のところと体育館の裏手側、また、学校へ上がる途中にあります立志の塔駐車場って名前がついていますが、そこを合わせると全部で52台あるということが分かりました。じゃあ、実際に、このグラウンドであったり駐車場をどういうふうに使っているかといいますと、まず授業参観日。これは学校駐車場。赤枠で囲ってあるところを使いつつ、また、②山岡Ｂ＆Ｇ北側駐車場ということで、前回、ロータリーにしたらどうかという提案をさせていただいた場所になるんですが、こちらを使っているそうです。こちらで足りない分につきましては路上駐車をしているというとこです。

グラウンドを使う体育祭の場合はどういうふうにしているかといいますと、先ほどと同じように、学校駐車場であったり、Ｂ＆Ｇの北側の駐車場を使っています。修学旅行につきましては、生徒数がそこまで多くないですので、大型のバスが実際に職員玄関の前まで上ってきたということで、こちらを使っていました。引渡し時に関しましても、学校の職員玄関の目の前の駐車場に止めて、体育館に親さんが迎えにいって引渡しをするというような感じで使っています。令和８年度統合時の学校規模としましては、生徒数は336 名、14 学級を想定しております。

続きまして、恵那西中学校について御報告いたします。こちら、学校規模、教員数30名、職員数６名の計36名。生徒数は383名、16学級となっております。学校内駐車場ですが、まず赤枠の囲ってある校舎に近いところ、こちら41台ございます。あと、送迎・社会開放用ということで、体育館の東側にまた駐車場が別であるんですが、そこは43台あります。

順番にいきます。授業参観時は、学校のグラウンドを使っております。グラウンドを使う体育祭といいますと、②のまきがね西体育館駐車場、または③のまきがね西グラウンド、こちらに車を止めています。次、修学旅行につきましては、ちょっと右の上のほうにあります、まきがね公園体育館の駐車場、こちらに大型バスが三、四台続いてきて、ここで乗り降りをしています。引渡し時に関しましては、学校体育館東側の送迎用駐車場。または、まきがね西体育館駐車場に車を止めて、職員玄関まで歩いてきて引渡しをして、また駐車場に戻るというような活用をしております。

最後、恵那東中学校です。こちら、学校規模、教員数が31名、職員数が４名、計35名です。生徒数は402名の16学級です。駐車場は46台ございます。

順番にいきますと、授業参観時は、やはり学校グラウンドを使っております。今度、グラウンドを使う体育祭ですが、こちらちょっと遠方になりまして、ま

ず②の武並神社駐車場。こちら南側にあります。ここに止めていて、これで足りない場合は、今度③の消防本部の駐車場、こちらにも止めております。これでも足りない場合は、大井小学校まで。図面の左上のほうにありますが、そちらの駐車場を借りて、歩いていってるそうです。修学旅行につきましては、③の消防本部の駐車場にバスが来て、そこで乗り降りをしております。引渡し時は、学校グラウンドに車を入れて、そこから歩いていって、職員玄関まで迎えにいって、引渡しを受けているそうです。

こうして比較したときなんですが、やはり先ほどグラウンドをどうするかということで、学校のグラウンドもありつつＢ＆Ｇのグラウンドがあるということで、いろんな使い方があるのかなと思います。

まず、１点目、恵那西中学校の事例なんですけど、部活動が、ソフトボール部と野球部がございまして、同時にやっぱり１つのグラウンドは使えないので、ソフトボール部は恵那西中の学校グラウンドを使う、野球部はまきがね西グラウンドを使うというような、そういった使い方もあります。次の議題で部活動の話もありますが、いろんな部活ができた場合、やはり１つのグラウンドでは全部の部活はできないのかなと思うので、やはり複数あると、そういった複数の使い方もあるのかなということも考えられます。

あと、次に、スクールバスの乗降場所。前回、旧恵南デイサービスの場所と、先ほど言った、山岡Ｂ＆Ｇの北側の駐車場。こちらちょっと薄く水色で塗ってありますが、ここでどうかという提案をさせていただいたんですが、今回は、この場所に限らず、やはり学校に近い場所がいいのか、それとも体力づくりのために少し離れた場所がいいのかというような、ちょっと提案をしていただけるといいかなと思います。

やはり近い場所ということは、子供たちも安全にはなりますが、前回の意見で、こども園の送迎用のバスであったりお迎えの車の危険性があるといった意見もございましたし、逆に遠くすることで、ほかの市町村さんでも、あえて歩かせているというような事例も聞いたことがありますので、あえて遠くにするというほうもありなのかなということもありました。なので、この辺ならどうかという提案も今日していただけるとありがたいなと思います。その考えを基にして、次の議題であるスクールバスの運行計画で詳細を検討していきたいなと思っております。

私のほうからは以上です。

事務局　校舎のまず計画と、あと敷地全体をどういうふうに見ていったらいいのかなというところで、大体、同規模の人数がいる恵那西、恵那東というところをちょっと今日は参考にという形で出させていただきました。

この後、またグループ討議ができるような。どういうふうにやるかは、また後でご説明させていただきますけれども、今まで第３回、第４回で意見をいろいろ出していただいて、今、各グループの机の上に、校舎周辺の利活用って書いた白い紙がある、その左下辺りには、前回取りまとめていただいた提案のことを、もう一度ここにちょっと、前回の会議でもお話しさせていただいたんです

が、ちょっとここにまた列挙させていただいております。これを踏まえて、実際、増築部分もそうなんですけども、既存校舎の中身も改装していかなあかんというところで、今後の設計に出された、いろんな提案を取り込んで、これから設計のほうには取りかかっていくことに、進んでいくということになっていきます。

そのほか、この部会でも１つご提案もあったように、ランチルーム。そのことについて、実は教育のほうを管轄してる部会、ここで学校図書をどうしていこうかという議論をしていただいとる中で、やっぱり今の図書館スペースをより広くして、メディアスペースなんていうふうになるのかどうかは別としても、より多くの活用をしたほうがいいよねということで、ランチルームと今の図書館、ちょうど上下にあるところ、それを一体利用するような形がいいんじゃないかという方向性が示されてきてます。ここの部会でも、ちょうどここにあったように、ランチルームを図書館にして２階へつなげたらどうかというようなご提案、ここでもやっぱり同じようなご意見がありました。教育部会のほうでも、ぜひそのようなアイデアを取り入れてほしいなというご提案をいただいていますので、ここでも、まずは皆さんにもご紹介して、ご承知していただければなと思っているところです。

それでは、今日、今ざっと、今まで部会４回ほどやってきた中で、いろんな意見を出させていただいて、あと最後、この辺りでどういう方向性を示していこうかなというところに入ってきてるかなと思ってます。今回、グループ討議で、さっきちょっと提案あったように、バスの乗降場所。前はここでというような絵を示したんですが、それよりも、ちょっとやっぱりこの間の意見やと、近いという方向か、いやいや、やっぱりバスやと歩く機会が少なくなっちゃうんで、ちょっと遠くても歩かせようかと。実際、よその市町村でも、あえて遠くしたというところもあったそうです。だから、そこを皆さんどういう考えで行こうかなというのを話し合っていただきたいなというのを踏まえながら、これから入るグループ討議のやり方を、ご説明させていただきますので、そこから始めたいと思います。

事務局　本日、最終的には前回と同じように、各グループで取りまとめたご意見を発表していただくというところに行きたいと思っています。そのときには、この左上に校舎周辺の利活用というところに、今日グループでまとめていただいた意見を貼っていただいて、ほかのグループに提案をしていただくという形を取りたいと思います。

この紙を見ていただくと、増築する校舎のご意見を書く。それから、グラウンドの利用について。そして、スクールバスの乗降場所。この３点が、今日グループで討議していただきたい視点になります。いきなりここに入って、ここに皆さんの御意見貼っていってもらっても結構ですし、いきなりというとなかなか難しいので、前回のように、それぞれのところでメリット・デメリットを貼っていただいて、それを基にしながら、じゃあ、我々のグループは、例えば、Ｄ－２案とＥ案であれば、Ｅ案を我々のグループとしては推したいなというこ

とになれば、ここからここに付箋を貼り直してもらって発表していただく。それから、グラウンドの利用については、ここに貼ってもらってもいいですし、それぞれざっくばらんに話していただく中で、どなたかに付箋に書いてもらって、ここに貼ってもらって、グラウンドの利用としてはこんなふうです。そして、スクールバスのことについても、ここに貼ってもらってもいいですし、いきなりこっちでもいいんですが、我々のグループとしてはこんなふうな意見でまとまりましたというような形で発表していただけたらと思います。

取りまとめと書きましたが、状況によってはなかなか、今日４名、５名の人数ですので、例えば、２対２に分かれてしまって取りまとめも難しいということになれば、こういった意見とこういった意見で、どちらも甲乙つけがたいということでご意見いただければ結構ですので、そのような形で進めていただきたいと思います。

何かご意見よろしいでしょうか。よろしいですか。では、私からの説明は以上です。

事務局　では、また事務局の職員も入った上でこれから進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。会長、部会長さんも今までと一緒のとこで加わっていただけると非常に助かります。

増築する校舎・グラウンドの利用・スクール場所の乗降場所について～グループ討議～

事務局　それでは、８時 10 分になりましたので、ここまでの御意見をほかのグループと共有したいなというふうに思います。ちょっと発表していただける方、ご準備のほうよろしいでしょうか。

では、過去２回こちらからなので、今回はこちら側、こども園部会のほうから発表よろしいでしょうか。お願いします。

こども園部会発表者

取りあえず、今までの話を基にD－２案というので、グラウンドの活用できるならそれが一番いいかなというところがあったのと、D－２案にするんであれば、教室がいっぱいできるのでいいんですけど、図書室というのがやっぱり遠くなるというのはちょっと問題かなというのと、部室棟がなくなるから、それをどうするのかなというのは今後考えていかなくちゃいけないねというのがD案に対して。それに、もし図書室の分室をD案のところに新しくつくっていったり、生徒が自由に使えるスペースというのも、せっかくこんなに広く増築するんであれば、今の中だと旧校舎のほうにそういうスペースがあると思うので、その場所、新校舎のほうにもそういう、生徒が自由に使えるようなスペース、自閉症の子とかも逃げられるようなスペース、図書室の分室みたいな感じのがあるといいのかなという話が出ました。

航空写真からのグラウンドの利用については、こんなもんかなという感じ、特別には出てなくて。

スクールバスの乗り降りする場所に関しては、やっぱり今日串原来て思ったと

ころもあるんですけど、もともとのバスに乗ってる距離が距離、時間も時間なんで、もう近いほうがいいんじゃないかなと。せっかくロータリーとして回るんだったら、もう乗ってちゃってもいいんじゃないかぐらいの意見も出ました。ただ、それをするんであれば、やっぱり今のバスの案だと、道がやっぱり、幾らすれ違えるスペースがあるとはいえ、歩いていったり自転車で行く子もいれば、バスの子もいる。こども園の入り口、送迎する道も近くにあるで、やっぱり危ないなというのがあるんで、やっぱり市道、歩道の拡張、広げるというのは、確実に。近い場所にするんだったら、特に必要だな。近くにしてもしなくてもやっぱり必要だとは思うんですけど。ていうような意見が出ました。

事務局　ありがとうございました。

では、小学校部会お願いします。

小学校部会発表者

はい、よろしくお願いします。

まず、校舎の案についてなんですが、今回、非常に具体的な、しっかりと根拠を示していただいてありがとうございます。前回それがなかったので、残念ながら私たちも意見をまとめられなかったりとか、割と言いたいことを言ってしまってたというところがあると思うんですけど、そういったものを出していただくと、非常に納得して話が進められるということはありますので、それについては感謝申し上げます。

その上で、やはりＥ案というのは、グラウンドの安全面というところを考えると、やはり難しいなというとこで、うちの班もＤ－２案のほうを今回は推薦していきたいと思います。

グラウンドの利用につきましては、ただやはり通常授業の体育などは、建築中のことも含めて、何とかD－２案のグラウンドとか使えるとは思うんですが、やはり大きな行事、体育祭だったりとか、駐車場が必要になるような行事のときには、そういったときはＢ＆Ｇのグラウンドのほうをメイングラウンドとして使わせていただいて、中学校のグラウンドのほうは駐車場などの施設として使用していくというような活用方法を提案したいと思いました。

それから、上のグラウンドについてもそうですし、下、Ｂ＆Ｇをグラウンドにした場合もそうなんですが、やはりトイレの確保というところは、新しいトイレを造る、ピロティの１階部分に造っていただくというようなこともやっていただきたいと思います。

それから、スクールバスの乗降場所については、この班は、少し離れた場所ということで、恵南デイサービスセンターの跡地などですね、こちらのほうのロータリーの建築という形でお願いしたいと思いますが、現在、山岡中学校の生徒さん送ってくる親も、恵南デイサービスセンターのとこで生徒さんを降ろして帰られるという事実があるようですので、バスもそういった送迎の自家用車、同じ場所で回る、もしくは、その近くで回れるような設備にしていただきたいというところ。ただ、自転車通学をしている生徒さんが入ってくるところもありますので、現状の中学校横のグラウンドの駐輪場はなしにするとして、下の

ロータリーのところに同じように自転車置場も造れたらいいんじゃないかという意見もあります。

それから、下から子供たちが歩いていくことになるわけなんですが、やはりその際の歩道の部分ですね、拡張なり安全性の確保は必ずしていただきたいと思います。また、既存道路を使うのではなくて、例えば、どっか裏側、こども園をぐるっと回っていくような道であったりとか、山岡保育園と書いてある、この坂のところを真っすぐというふうになるかもしれませんが、別の歩道を整備するという案も１つ提案させていただきたいと思います。

それから、アイデア提案された事項の部分で、今回、参加していただいた女性が保育教諭さん。

委　員　　養護教諭です。

小学校部会発表者

養護教諭ということで、そちらの視点からかなり多くの意見をいただきましたので、そちらのほうを発表させていただきますが。従来の中学校の入り口、部屋の入り口の扉って半開きだったりとか、ストレッチャーとかが全然入れないような施設のところが多いというところですので、まず教室等々の出入口の間口は広いもの、ストレッチャーが入れる広さにしていただきたいと。それに合わせて、エレベーターも対応できる大きさにしていただきたい。

それから、感染症というところもいろいろ問題が出てきておりますので、できればロスナイ換気などをして、効率的な換気ができるようにしていただけるとうれしいという意見がありました。

すみません、こちらとしては以上です。

委　員　　エレベーター、エレベーターもストレッチャー対応に。

事務局　　ありがとうございます。

では、中学校部会からお願いいたします。

中学校部会発表者

まずは、校舎はやはりＤ－２のほうが、グラウンドが上手に使えるんじゃないかということで、よいのではないかと。前、ちょっと懸念してた西日がこれで解消できるのではないかということで、Ｄ－２がいいんではないかということです。

グラウンドのほうは、立地的にＢ＆Ｇのグラウンドもあって、こっちの中学校のグラウンドもあるという、２つ使えるというのはやはりすごいいい立地じゃないかなと思うので、ちょっと２つ使えるようになるのがいいかなと。校舎が建って人数も増えるのに、ちょっとグラウンドが狭くなるので、体育祭とかそういうような行事はＢ＆Ｇを活用するといいんじゃないかということがありました。

次は、スクールバスですけど、やはり通学時間を短くしたいという保護者の方もおられるので、わざわざ１時間もバス乗ってきて、また 10 分、20 分かけて歩いていくのはちょっと大変である。そこも含めて１時間以内にならないかという意見は、そういう意見を各保護者のほうから聞いてきた方もみえましたの

で、体力をつけるために歩きたいという親さんもいらっしゃったみたいですが、近くで、通学時間を短くするということを考えるなら近くのほうがいいんじゃないかということです。
そのためには、図面で示された周回の道路ですけど、これをなるべくバスが、大型バスが通れるように拡張していただいて、この周回をバスが回れれば、そこで、校舎前で降りるということもできると思います。何かの、すごい雨降ってるときには、ここで乗り降りするというような形もできるので、この周回道路は、狭いところはちょっとなるべく広くしていただいて、バスが回れるようにしてもらいたいと。
そうなると今度、下りていく道も狭くて、バスがすれ違えないとかあるので、ちょっと待つ、少し待機をしておいて、出ていかなけりゃいけなくなったりするのもありますし、こども園との車の、交差点のところもありますが、ちょっとやっぱり狭くて危ないところもあるので、それも含めて、道路の拡張をしていただきたいと。なるべく歩道と道路も、大型バスですれ違うのは大変かもしれないですけど、普通車は確実に、危なくないようにすれ違えるほどの道幅が欲しいという要望がありました。
以上です。

事務局　そうしましたら、校舎については、どのグループもD－２案でしていったらどうだろうかということで今日御意見を、ここは１つにまとめられるのかななんてことを思っています。細かい部分は、また今後検討が必要なところもございますが、事務局がもっと早くに出してくれたらなんていう御意見をいただきましたので、真摯に受け止めながら、また次回につなげていきたいと思っています。
グラウンドについては、若干、校舎が建つことで手狭になるんですが、今、恵那西中や恵那東中の規模でも男女共修の体育の授業がようやく恵那市も始まってきていて、恵那西でも今年度から男女共修でやっています。恵那東は来年度ぐらいから男女共修でやるんですけど。そうすると、１学級で体育の授業、グラウンドでしますので、新学校では、恐らく 30 人から 35 人の人数になろうかと思います。その中で、サッカーですとかソフトボールなんかの球技をやるときに、どれぐらいかなということ心配にもなるんですけど、十分な広さはありますので、できそうかなということを検討しています。
ご意見あったように、大きな行事のときには、そういうときには下のグラウンドも使えるので、そういった２つのグラウンドを有効活用するというのも新学校の大きなメリットになろうかと思っています。
トイレについては、非常に意見としては重要なところかなと思いますので、参考にさせていただきます。
それから、校舎についてもご意見いただきましたが、こうやって回を重ねていくと、いろんなアイデアをやっぱり多くの皆さんからいただけるので、ほんとに自分にとっても新しい発見がたくさんあって、いろんな視点からまたご意見いただけるとうれしいななんてことを思っていますので、ぜひ次回に向けても

いろいろ考えていただいて、こんな意見も、あんな意見もというのを教えてください。
バスについては、やっぱり二通り出てきておりますので、この回でどちらかということには、当然、結論としては出ませんが、両方活用できるようなということは、お金的には苦しくなるところもあるんですよね。ちょっとまたその辺検討ですね。

副部会長　取りあえず、出していこうよ。出していこう、両方。予算として要望出していこう。

事務局　分かりました。じゃあ、恵南デイのところも駐車場にしながら、校舎周りをぐるっとスクールバスが回っていけるようなハイブリットができれば最高だというご意見を頂戴したという。

事務局　何となく近いところにあるということは、何となく皆さん聞けたかなと思ったんで。あとはどういうふうに造っていくかというのは、ちょっとまた絵を描きながらね、ということで。

事務局　グループ討議ありがとうございました。では、会長さんに返すんで。

事務局　では、そうですね、部会長さんと副会長さんもお戻りいただいて。
ちょっと最後、事務局、私から。バスのことについては、実は次からはバスのルートとか、どういうふうにやっていくかって、多分そこと絡んでくる話にはなりますので、今日いただいた意見はもちろんなんですけど、何となく、やっぱり通学時間とかいろいろ考えると、近くにある、降ろせる場所があったほうがいいというのは何となく、今、ご意見やったかなと思ってます。あと、それを具体的に、じゃあどこに造れるのか。さっき言った周回がちゃんと可能になるのかというのは、これからまた技術的なことも踏まえながら、ちょっと検討していきますけども。スクールバスの運行計画と一緒になって、それも考えていきたいと思ってますので、お願いしたいと思います。
では、今日のここまでのことは、これで何となく方向性が示せたかなと思っておりますので、皆様ほんとにいろんなご意見出していただいて、いい形ができたかなと思っております。また持ち帰りまして、個々の具体的な設計のほうに反映がどこまでできるかをこれから進めていきたいと思います。ありがとうございます。
では、部会長さん、次のところで進行のほう、よろしくお願いします。

部会長　はい。じゃあ、２番目のご協議、大変ありがとうございました。
次は、これを踏まえて、今、バスの話もあったかと思うんですが、次回の部会の開催日等についてお願いします。

事務局　次回予定は、スクールバスの運行計画と、少し情報提供もしていかなあかんので、部活動のことについて、これをやっていきたいと思います。実は日にちを、候補日を決めてきました。11 月 29 日水曜日。部会長さんと副部会長さん、その前の時間に確認させていただいたら、それでオーケーだというふうにいただいたんですけども、次回、その日にちで行わせていただきたいと思っております。11 月 29 日水曜日です。

場所は岩村かなと思ってます。これからまた会場を確認しながらいきたいと思いますけれども、岩村で行う予定ということで。また正式にはご案内を発送させていただきたいと思います。

では、議題の話も、今言ったスクールバスの関係と部活動に関することということで。また、どんなようなことを具体的にというのは、また事前にはお示ししたり、資料のほう提供して、会議のときがスムーズにいけるように準備はさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、このような形で次進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

部会長　はい。

事務局　これで、私どものほうからお伝えする事項は全て終わりました。何か最後のお一言ございましたら。

部会長　一部のとこでもあったんですけど、非常に分かりやすい資料を今回提示をしていただいたんで話が進めやすかったかなということを思ってます。それで、言いましたように、最初、私が申し上げたんですけど、速達で送ってくるぐらい市のほうも一生懸命時間を割いて、なおかつ、少しでも早く皆さんにこの議題を頭の中へ入れてもらって、こうした会議のところに臨んでもらえるような仕組みづくりができてきましたので、これを今後も反映していって、よりよい方向に進んでいけたらいいなというふうに思っております。

皆さん方には、いろいろ大変でしょうけど、ほんとこれから正念場になると思いますんで、今いる子供たちも含めて、これからの子供たちが、この地域、あるいは、どう言うんですかね、世界を背負っていくと、そこまで思いがある気がします。以上です。

副部会長　では、お疲れさまでした。

事務局　ありがとうございました。

今日はどうもありがとうございました。これで閉会とさせていただきます。